

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
建学の精神と人生	共通	1年・前期	2単位	必修	中山彰信・麻生隆史
履修の前提条件	学生便覧の「建学の精神をたずねて」を読んでおくこと。※禁止事項：遅刻厳禁				
授業概要 (Course Outline)					
現代人の多くは、社会のあらゆる変化に即応できない人生に対し、厳しさを感じている。自殺者の問題は無視できないものであり、我々が対応できない本質は如何なることであるのかを考える。そこで、建学の精神を通して不安の要因は如何なることであるか、また「人」の心が如何に不安定なものであるか、そのことが建学の精神にこそ求められていることを考える(人生を考え、その本質を求める)。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture	○			
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	○			
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数論的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	○			
	問題解決力 Problem Solving				
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy	○			
	自己管理能力 Self-management				
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense	○			
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	○			
	生涯学習力 Lifelong Learning	○			
到達目標 (Objectives)					
本講義は人生における「精神」「心」の問題に焦点を当て、生活の中で苦悩している自己について、正しく見つめる心を養うことを目的とする。また、建学の精神「至心」は如何なることであるかを問い、人作りの基本となる宗教的精神「感謝」の本質を求める。					
事前学習の内容	学生便覧2,3頁を調べておく。不明な文言の意味を調べておく。地域の地図を見ておく。				
事後学習の内容	プリント、ノートなどを見直して、講義の内容の理解を深めておく。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
学外から専門家を招いて特別講演を行います。講演に関してレポートを課します。対話型の授業を心がけます。学生から積極的発言を期待します。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせ、相談等は研究室(273)にて随時受け付けます。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
講義のカーボン、コピーノートを講義終了後、毎時間提出していただきます。ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	はじめに(講義の概要、受講上の諸注意)		
第2回	「建学の精神と人生」について		
第3回	「太宰府天満宮の由来について」(講師:太宰府天満宮文化研究所主管 味酒安則氏)		
第4回	「建学の精神Ⅰ」(講師:学長)		
第5回	「地域の歴史と文化Ⅰ」(講師:太宰府市教育委員会 城戸安則氏)		
第6回	「地域の歴史と文化Ⅱ」(講師:太宰府市教育委員会 城戸安則氏)		
第7回	「建学の精神Ⅱ」(講師:学長)		
第8回	建学の精神「至心」について(佛典「無量寿経」より学ぶ)		
第9回	報恩感謝の思想(佛典「大乘本生心地観経」より学ぶ)		
第10回	先代学長の報恩感謝への思い(教育精神「知・情・意」)		
第11回	理性への限界(I・カント思想より)		
第12回	行動変容の基本原則Ⅰ(「容は心を呼び、心は容を呼ぶ」)		
第13回	「被爆体験を学ぶ」(講師:未定)		
第14回	まとめ		
第15回	定期試験		
第16回	前期講義の総括と試験の復習		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
レジメ、プリント配布			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
学生便覧 大蔵経(3巻291頁、40巻826頁)			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験60% 平常点(カーボン、コピー、ノート、レポート等)40% 到達目標…真実を求める精神			